

最近身近で起きたこと聞いたこと

高花台一丁目生涯学習奨励員

田村 泰彦

おいは、定年前に脳梗塞で倒れ、手当、手術が早かった為にリハビリテーションが終わり、会社に出社しましたが、復帰は成らず退職。現役の頃は十分体を治してから戻ってくるように上司から伝えられたのですが、企業も余裕がなく、コロナの影響により「雇い止め」。子供は中学生。後の生活を心配していたところ、運送会社のトラック運転手に決めたとの事。運転中の事故の無きよう祈るのみ。

世界文化遺産は沢山ありますが、群馬県では富岡製糸場と関連施設群となりますが、片品村が群馬県、栃木県、福島県、新潟県の県境「尾瀬国立公園」で世界自然遺産でなく、世界文化遺産を目指すそうです。内容は検討の上、申請になるのでしょうか、木道を中心に考えているようです。維持管理、費用対効果を考えるとどうするのかと思ってしまう。国立公園になる前に課題が沢山あり、解決しておくことをしていないこと等すべて先送りしているのが現状です。それで良いのか気になってしまいます。



「涅槃会」

高花台二丁目生涯学習奨励員

馬場 康夫

2月15日は釈迦の命日で寺院では「涅槃会」といわれる法要を営みます。入滅直後の釈迦を描いた涅槃図を掲げ、その徳を偲ぶものです。過日、『京の冬の旅・特別公開』で立ち寄った

「本法寺」というお寺で涅槃図を初めて見るこゝとができました。国宝の「松林図屏風」や「桜楓図」で有名な長谷川等伯が描いたものです。まず、その大きさに驚きました。縦10m、横6m。吹き抜けに掲示され階段を上り下りして

全体を間近にみられるようになっていました。中央の沙羅双樹の木の下に釈迦が横たわり、菩薩や諸天、仏弟子がその周りで悲嘆にくれ、もがき悲しんでいます。象や駱駝、獅子や虎、鳳凰なども悲しみに頭（こうべ）を垂れていま

す。等伯は若いころ仏絵師であったことから諸仏の表情は驚くほどリアルで迫力があります。上半分には白雲たなびく枯れた沙羅双樹と、樹間にぽっかり空いた群青色の夜空。静かに満月が浮かび、虚無と寂寥（せきりょう）感を漂わせていました。

涅槃会は七五三年、東大寺の二月堂で行われたのが最初といわれていますが、同じ頃、総人口の3分の1の命を奪った感染症（天然痘）の沈黙化を祈って奈良の大仏が建立されました。

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたらしく入った本の紹介

一般書

著者名

朝焼けにはファンファーレ	織守 きょうや
処方箋のないクリニック	仙川 環
神様には負けられない	山本 幸久
観月	麻生 幾
天を測る	今野 敏
当確師 十二歳の革命	真山 仁
機巧のテロリスト	数多 久遠
いとまの雪上・下	伊集院 静

児童書・絵本

超高層ビルのサバイバル1

こども般若心経

洪沢栄一

若おかみは小学生！スペシャル短編集3  
カマキリのシャルロットとすずらんでんわ  
絵本はたらく細胞

ちいさなはたらきばち ヴィオレット

くつやさんとおぼけ

くほかにもたくさん新刊が入りました！

★木曜休館（土日祝日は10時～17時開館）  
※ご来館の際はマスク着用をお願いします。  
※図書館利用時間を30分までとしています。  
ご協力お願いします。